

要望

日付：2025/9/3

件名：子育て支援について

1. 問題、課題

県の方針が変わったことにより、給食費や入学などの支援が打ち切られた多子世帯が多くいると、4人以上お子さんがいる方々から聞きました。少子化の現代で多く産んでくれる方に支援することは当たり前だと思います。

2. 改善案

年収に関係なく支援すべきだと思います。子どもが多い分、負担は大きくなるので。

3. 改善後の効果

子どもを授かっても、物価が上がり大変な中、産まないという選択をする方に、産みたいと思ってもらえるようになると思います。産まない・産めない方もいる中、多子世帯の方を応援するべきだと思います。

回答

<子育て支援について>

【所管：教育政策課】

就学援助制度に関し、子育て支援に関する視点からのご提案について、お答えいたします。

現状として、就学援助等に関して町の審査基準のもととしている国の審査基準が令和6年度認定分から見直されたことにより、多子世帯に限らず、令和5年度までの基準では認定を受けることができた方が不認定となるケースが発生しております。

物価高騰が続く中、家庭への様々な影響が取りざたされていることは、町としても認識しておりますが、町の教育や子育て支援に関する施策は多岐に渡るため、限りある財源の中から、優先順位をつけて様々な施策に取り組んでいるところですので、現状としましては、就学援助に関する審査基準を変更することは難しい状況となっております。

また、現在、国において教育費や給食費の無償化等についての検討も進められておりますが、就学援助に限らず、引き続き国等の動きを注視しながら取り組んでまいりますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。